平成27年度発達障害に関する教員の専門性向上事業

別紙様式２

府中市立府中小学校の取組

研究テーマ
個が生きる集団活動をめざした学級活動
～　人的環境のユニバーサルデザイン化に向けて　～

授業実践①（プラン）

◆第２学年　学級活動（１）ア　議題「係活動を見直そう」

◆本時の目標

- これまでの係の活動を振り返り，学級が楽しくなるように，複数の係の活動内容を合わせたり，よいところを取り入れて新しい係活動にしたりするなどの創意工夫を話し合うことができる。
- 友達の発表や教師の話をよく聞き，自分の考えをはっきりと発表することができる。

◆児童の状況と，それをふまえた指導・支援のポイント

学級全体の状況
- 明るく元気で，何事にも一生懸命に取り組む。
- 学級をよりよくしようと進んで行動する姿が少ない。

特別な支援が必要な児童の状況
- 自分に自信がもてない。
- 自分の意見が言えない。
- 友達の意見に耳を傾けられない。
- 人間関係をうまく作れない。

指導・支援のポイント
- 互いの意見を尊重し合いながら係を決定し，協力して活動することを通して，学級内の人間関係を深める。
- 自分たちの力でよりよい学級生活をつくっていこうとする自治的能力や自主的，実践的な態度を育てる。

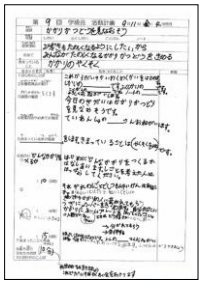
授業実践②実践の具体

【事前指導】

＊議題の募集
話合いや活動への見通し
自己有用感の育成

＊計画委員会の実施
輪番制で行い，どの児童も活躍できる
話合いに必要な活動計画を立て運営

＊事前に自分の考えをもって参加
話合う内容（議題）について
事前に発表し，意見を掲示する。
「同じ考えをもっている人がいるな」
「自分の得意なことや好きなことを生かしたいな」
「きらきら２の１になるような係にしたいな」

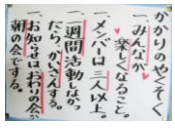


授業実践②実践の具体

学級活動（１）ア「係活動を見直そう」

【話合いの実際】

＊ともだちの意見のいいところを
児童同士で認め合う。
＊理由をつけて発表する。
＊議題やルールに沿った話合い
＊折り合いを付けた話合い
「歌係」と「合奏係」⇒「仕事内容が似ているから合体しよう」
「なやみ相談係」と「イラスト係」
⇒人数が足りないからなくなってしまう
…何とかならないかな？
＊先生の話による評価



授業実践②実践の具体

事後指導

【係活動の実際】

＊自分の得意なことを係にできる
⇒自己満足感　学級で活躍　友達から認められる
規範意識の高まり　集団の一人としての意識

＊人間関係づくり
いろいろな児童と共同作業
⇒人間関係の広がり　関わり方を知る場
優しい声のかけ方がわかる

＊係活動の活性化
係で給食を食べる　係活動コーナーを作る
⇒グループの一員として活躍
友達と協力する喜び　授業中の規範意識

係活動コーナーのやくそく
◆ みんなのためになることにつかう
◆ つかったらかたづけをする
◆ たらないものがあったら、先生にそうだんする

授業実践③成果・課題

成果【児童の振り返りから】

自治的能力や実践的な態度の育成
- もっと「きらきら２の１」になれるような気がしてうれしい。
- みんなの考えた係がなくならないように考えて思いついたのがすごい。
- 係を合体できてみんなが楽しくできてよかった。
- 司会者がちゃんと進めていてよかった。
- 話し合いが時間内で終わってよかった。（計画委員会）

学級内の人間関係を深めること
- 自分で決めた係を友達と一緒にがんばりたい。
- 友達のいいところがわかったのでうれしい。

課題
- より自治的な活動への移行
- 個への支援は，生活の中での様々な活動でしっかり評価

授業実践④今後の改善点

教育のユニバーサルデザイン化

＊教室環境のUD化の継続

目に見えないものを見えるようする

「いいところ」が発揮されやすい環境

＊人的環境のUD化

学び合うための環境や関係づくり

学級経営の充実

特別活動を中心とした自治的活動の実践

⇒クラス全体の社会性を高める

＊授業のUD化

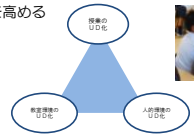
①ひきつける

②むすびつける

③方向づける

④そろえる

⑤実感させる



「通常学級のユニバーサルデザインプランZero」岡部利彦　東洋館出版社

普及・啓発①拠点教諭の取組

市内特別支援教育研修での実践発表

（市内特別支援コーディネーター対象）

＊平成26年度の実践についての発表

・特別支援教育の考え方を生かした「学級活動（１）」

・学級集団づくりと特別活動の充実

「集団活動を通じて個を育てる」という視点で，

特別活動を通して意図的・計画的な集団づくり

＊拠点校の取組の発表

・９年間を見通した生徒指導をめざして

⇒小中合同授業研修・小中合同生徒指導研修の実施

連携シートの取組

普及・啓発②拠点教諭の取組

＊市内特別支援教育研修会での授業提案

市内特別支援コーディネーター対象

特別支援教育を考え方を生かした授業提案

学級活動（１）の授業公開

＊公開研究会での授業提案

かかわりを通して思考力を高める児童生徒の育成

～課題解決学習における書く活動と話合い活動の充実を通して～

「道徳」の授業公開

＊広島県教育センター研修

学級経営

「学びを支える！つながる学級づくり（小学校）」

学級活動（1）授業提案及び学級経営に関わる実践発表

普及・啓発③拠点校の取組

＊積極的生徒指導の充実

学級集団づくりと特別活動の充実

「集団活動を通じて個を育てる」

特別活動を通して意図的・計画的な集団づくり

＊通常の学級における特別支援教育指導の実施

・指導教諭による授業観察

→個人・集団に対する効果的な指導・支援の方法を協議

・特別支援教育の研修

→応用行動分析の仕方について，学園全体で研修

＊特別支援教育の視点を生かした授業づくり

「特別支援教育の考え方に基づいた授業づくり」

「授業規律・スタイル」の作成

授業規律を全校で統一「揃える」

今年度の成果・課題

	成　果	課　題
授業実践	・自治的能力や実践的な態度の育成を図ることで自己肯定感を高めることができた。 ・学級内の共感的人間関係が生まれた。	・より自治的な活動へ移行していく。 ・個への支援をより充実させる。
普及・啓発	・県内の特別支援や学級活動に関わる教員に取組を知ってもらうことができた。	・実践発表や授業提案を行ったが、他校での実践や取組を確認する場がもてなかった。

次年度への展望

	取組の重点
授業実践	・学級経営全体を含めた、授業実践を行う。 （人的環境のUD化） ・個への取組みの充実 （授業のUD化）
普及・啓発	・公開研究会等での地域普及活動の充実 ・通常の学級の担任への普及・啓発活動